

会員各位

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会
会長 川原 丈貴

高度なマネジメントスキルを持つプロフェッショナルなコンサルタントへ 産業能率大学大学院 総合マネジメント研究科 経営管理コース<MBA> 特別入試 公募推薦のご案内

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会は、学校法人産業能率大学と連携して、マネジメントの思想と理念をきわめ、これを実践の場に移し、組織や社会の発展に貢献する人材を育成することを目的として、同大学院総合マネジメント研究科経営管理コース特別入試（AO：アドミッションズ・オフィス）の公募推薦を実施します。

つきましては、医業経営の健全化・安定化に貢献する意欲にあふれる会員各位からの積極的な応募をお待ちしております。

大学院推薦の背景

医療・介護・福祉の現場におけるマネジメントや様々な業務のイノベーションによる質的向上に貢献することが期待されている医業経営コンサルタントに求められる専門的なスキルを体系的・理論的・実践的に修得するため、教育研修事業の一貫として勧めるものです。

社会人の大学院教育に関する高いニーズとされる「先端的な専門知識や現在の職務に直接必要な知識の取得」「現在の仕事を支える広い視野を得る」等に応え、職業に必要な知識や能力を高める機会を拡大するため、大学院が提供する実践的・専門的な教育プログラムを奨励し、公募推薦を実施いたします。

社会人が働きながら学ぶ条件として「便利な場所」という立地に関する要因、「平日夜間・土日集中」の授業スケジュールなど、在職したまま大学院で勉強を続けられる柔軟な修学環境によって、学べる機会を継続的に広く提供し、医業経営コンサルタントが研究者や教育者と共にこの領域のさらなる発展につなげていくことが期待されます。

人材育成の目的

- 本協会の会員として、厚生労働省や都道府県等の医療行政、医師会や病院会等の医療事業分野における要請に応じ、社会に貢献することへの志と強い信念を持つ次世代リーダーの育成。
- 医業経営コンサルタントとして、諸課題に意欲的・創造的に取り組み、かつ幅広い視野を備え、将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や社会での医療・介護・福祉の諸課題に広く対応できるプロフェッショナルの育成。
- キャリア・アップ及びスキル・アップの先端者として、技能・態度・創造的思考力等に関する深遠な専門知識を有し、課題への探究心を実践力に結びつける教育の展開、及び柔軟で質の高い研修との調和を図りながら、創造性豊かな高度専門職業人の養成に不断の努力を積み重ねられるエキスパートの育成。

大学院修了後の本協会におけるベネフィット

推薦により産業能率大学大学院 総合マネジメント研究科 経営管理コースを修了した者は、在学中に取得した単位数に応じ、継続研修の履修時間として認定対象とします。

[取得単位と継続研修履修時間の換算について]

例： 30 単位×45 時間＝1350 時間

〈参考〉 1 単位＝45 時間の学修の考え方

【大学設置基準－抜粋】(単位)

第二十一条 各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

- 2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。(以下略)

令和6年度 産業能率大学大学院 特別入試 公募推薦 概要

産業能率大学大学院の入学受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

「マネジメントの思想と理念をきわめ、これを実践の場に移しうる能力を涵養し、もって全人類に幸福と繁栄をもたらす人材を育成する。時流におぼれず、慣習にとらわれず、独断を排し、常に真実を求めつづける人間こそ、本学の求めるものである」という本学建学の精神の理念に鑑み、本大学院は、協調性と社会性を備え、大学院で学んだ成果を所属する組織や社会において実践し、組織や社会の発展に貢献する意欲を持った学生を求めます。

到達目標

- マネジメントに関する専門知識や理論、問題分析の手法を修得し、経営機能における的確な意思決定ができる。
- 関係する人との連携・協力関係を築き、リーダーシップや高いコミュニケーション能力を発揮することができる。
- マネジメントのプロフェッショナルとして高度な専門性と責任感、倫理観をもち、自ら問題を発見して課題を設定し、適切なプロセスを経て実効性のある解決策を導き出すことを通じて、組織や社会の発展に貢献することができる。

応募者に求める能力・資質

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会の「人材育成の目的」に賛同及び産業能率大学大学院の「アドミッション・ポリシー」を十分理解したうえで「到達目標」に賛同した方で、大学院の教職員と共に学術研究の成果を還元し、豊かな社会の創造に貢献していく意欲にあふれ、以下の能力・意欲を持つ人を求めます。

- 教育課程についての総合的な理解と大学院教育を受けるにふさわしい基礎学力がある。
- 専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識と強い探究心、コミュニケーション能力を持っている。
- 主体的に学ぶ姿勢と、論理的で柔軟な思考能力を持っている。
- 知的な好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む意欲がある。
- 高い志と豊かな発想力を持ち、未来を切り開く夢と情熱を持っている。
- 社会に貢献する意欲とリーダーシップを持っている。

本協会が選抜・選考の対象者とする公募推薦の要件

- 本協会の正会員であり、認定登録 医業経営コンサルタントとしての更新歴 1 回以上の者。
- 会費を全納しており、継続研修の履修義務を果たしている者。
- 産業能率大学大学院 特別入試「AO (アドミッションズ・オフィス) 入試」へ適合している者。
- 本協会会長が責任をもって推薦でき、合格した場合は入学することを確約できる者。

1. 推薦人員

3名以内

2. 入試区分

＜特別入試＞ AO (アドミッションズ・オフィス) 入試

※ 一般社会人で職歴に顕著な実績のある方を対象とする入試

3. 応募資格

- 入学時点において、企業・官公庁等において 3 年以上の実務経験があり、大学を卒業した方、または、指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程）を修了した方で、アドミッション・ポリシーに適合し、職歴の中で顕著な実績がある方

4. 応募に必要な提出書類

(1) 履歴書 — A 4 判・任意様式

- 職歴のなかで、最も力を注いだ事柄や仕事の成果について記入（500 文字以内）

(2) 修学計画書 — A 4 判・任意様式

- 組織（本協会または所属企業）や社会（医療または介護・福祉の分野）における現在および将来に関係してくる問題や課題の中で、産業能率大学大学院で取り組もうと考えているテーマを具体的に掲げ、その理由（テーマの必要性や重要性）、現時点で考えられる修学計画を記述する。

- 用紙は A 4 判とし、1,200 文字～1,600 文字程度を目安に記述し、文字数を本文の文末に（ ）書きで記入する。1 ページは 40 字×35 行 2 枚以内とする。

(3) 経歴の中での顕著な業績書 — A 4 判・任意様式

- 今までの職歴の中で、どのような成果や実績をあげたのか、また、その過程でどのような役割や働きをしたのか顕著な実績を具体的に説明する。推薦者選抜の重要な資料となるので、十分検討の上、記述する。

- 用紙は A 4 判とし、1,200 文字～1,600 文字程度を目安に記述し、文字数を本文の文末に（ ）書きで記入する。1 ページは 40 字×35 行 2 枚以内とする。

(4) 卒業証明書または卒業見込証明書 — 発行後 6 か月以内のものでコピー可

応募に必要な書類の提出期限

2024年1月9日（火）午後5時

応募に必要な書類の提出先

〒102-0075 東京都千代田区三番町 9-15 ホスピタルプラザビル 5 階

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 教育研修委員会 大学院連携部会

5. 一次選抜方法

選抜方法は「AO（アドミッションズ・オフィス）入試」区分との整合性を重視のうえ、書類審査により判定する。

一次選抜の判定結果の通知

2024年1月16日（火）

6. 二次選考方法

選考方法は「AO（アドミッションズ・オフィス）入試」区分との整合性を重視し、面接により判定する。

二次選考の実施通知と日程調整

2024年1月16日（火）

二次選考の面接実施期間

2024年1月18～19日（予定期間）

○面接の日時は、事前の通知と調整を経て、決定する予定です。

二次選考の判定結果の通知期限

2024年1月23日（火）

7. 産業能率大学大学院について 詳細は下記を参照のうえ、ご確認ください。

- 産業能率大学大学院公式ホームページ
<https://www.sanno.ac.jp/graduate/index.html>
- 大学院概要・教育情報
<https://www.sanno.ac.jp/graduate/summary/index.html>
- 大学院の特色
<https://www.sanno.ac.jp/graduate/characteristics/index.html>
- 2024年度 入学試験日程・入学試験要項
<https://www.sanno.ac.jp/graduate/exam/guideline/01.html>
- 経営管理コース 出願書類
<https://www.sanno.ac.jp/graduate/exam/document/001.html>
- 2024年度大学院 入学案内 資料請求ページ
<https://www.sanno.ac.jp/graduate/documentrequest/index.html>
- お問い合わせ先
産業能率大学 大学事務部大学院事務課
〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15
TEL：03-3704-9959

[参考情報] 産業能率大学大学院 2024年度 経営管理コース AO入試 入学試験日程

- ・第1回入試：2023年9月24日（日）
- ・第2回入試：2023年12月3日（日）
- ・第3回入試：2024年3月3日（日）※
- ・第4回入試：2024年3月31日（日）

※当協会が推薦する入学試験日程の対象は第3回となります。

- ・出願期間：(第3回入試)2024年2月7日（水）～2月21日（水） ㊦その他の入試出願期間は各自で確認してください。

- ・入試区分：AO 入学試験

お問い合わせ先：大学事務部大学院事務課（入試係）

TEL：03-3476-3500 Mail: sangrad@hj.sanno.ac.jp

本協会へのお問い合わせ先

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 事務局 事業課 担当：原・久慈

E-mail：kensyu@jahmc.or.jp TEL：03-5275-6993

産業能率大学大学院 総合マネジメント研究科 経営管理コース〈MBA〉

修了生の声 [認定登録 医療経営コンサルタント]



2020年度入学
三村 和正 氏

<背景>

わたしは医療機器メーカーでマーケティングやトレーニング事業に“のほほん”と籍を置いてきた協会会員である。そんな私が、幸運にも当協会が推進する大学院連携の第一期修了生（MBA）となった。ここでは、なぜ私が大学院に進む道を選択できたのかについて掻い摘んでお伝えしたい。

<内容の保証>

肝心の講義内容の話から始めてみたい。産能大学大学院は、組織学系を得意とするため、チーム医療を意識した病院組織からの参加者がみられ、また数多く修了生も輩出しているためネットワークの力は強い。中には新幹線で代官山まで通う社会人学生の姿も見られ、同じ境遇の院生として大いに触発された。

<大学院に入る前の逡巡>

人口に膾炙（かいしゃ）するMBAの教育課程を経験することは魅力的に映り、また自らの専門を洗練する過程として、修士論文をまとめることにも興味があった。さりとて、50を過ぎた者がそれを取って一体どうしようというのか？或いは、入学金などの経済的な収支をどう考えるのか？さらには、仕事をしながら大学院に費やす時間をどうやって捻出するのか？といった自分自身に向けた三つの問いが存在したため、大学院に申込書を提出するにあたり、この問いに対して自分なりの解を出す必要があった。

<意思決定に至る自分なりの解>

なかば常識化したことであるが、今まさに人類は長寿社会に突入しており、第四次産業革命の襲来、知識社会・創造社会の到来に代表される労働者キャリア時代の要請による新しい生き方の必要性を指摘している。ある経済学医者によると寿命が10年延びる毎に、引退後の生活費を確保するために7年長く働く必要があるというのである！確かに人生100年と言われる今の世の中では、キャリアプランを誤ると大きな陥穽が待ち受けている。そうであるならば、顧客にとって価値ある学び直しを通じて、自らのバージョンアップが必要であろうと思考し、今からでも遅すぎることはないという考えに至った。

続いて、費用調達についてである。産能大学大学院の入学費用・授業料は「良心的」かつ「誠実な」価格設定であり、厚生労働省が所掌する「教育訓練給付制度」などを利用することによって、かなりの割合が支援されたため自己負担は軽減された。最後の関門が時間捻出であった。産能大学大学院は社会人を対象にした大学院であるため、「卒業生の声」などで自分と境遇が似通った人たちが修了していることや、シラバスを調べてみると夏季集中講座や週末だけでもかなりの単位数を取得できることを知った。

【次項へ続く】

産業能率大学大学院

総合マネジメント研究科 経営管理コース〈MBA〉

修了生の声 [認定登録 医業経営コンサルタント]

〈修了後の振り返り〉

そんなわけで願書提出に至ったわけであるが、今振り返れば、上記意思決定は強ち見当違いのものでもなかったように思われる。予想外の収穫は、COVID-19の影響によって、他校が休校になった期間であっても、自校はカリキュラム通りに実行する「対応能力」を産能大学大学院は内包していることを知った。大正時代からその歴史をもつ大学院にあって、リスクマネジメント能力にすぐれ、実践型の教室を標榜するところ、本学の理念を実証したことは、論理面・実践面を重視する授業と無縁のものではないと思う。「為せば成る」ことを大学院の授業運営の現場から学んだ訳である。

在院生の声 [認定登録 医業経営コンサルタント]



2022年度入学
森田 仁計 氏

〈受験にいたる背景〉

医業経営コンサルタントとして病院経営を支援する中で、近年組織マネジメントに関する問題を抱える組織が増えていると感じていた。これまでもそういった病院に対しコンサルタントとして介入してきたわけであるが、その介入に関してどこか確証を得られずモヤモヤしている自分がいた。そのタイミングで、当協会のメタステージを受講し、講師の西山先生からシェアいただいたドラッカーの「実践なき理論は空虚である。理論なき実践は無謀である」という言葉にハッとさせられた。これまで自身が取り組んできたことはどちらかと言えば後者に近いものであり、実践を裏付けする理論を体系的に学ぶことでしか、このモヤモヤは解消されないと考え、受験を決意した。

〈入学後の感想〉

目的である組織マネジメントに関連する講義ばかりを選択していることもあり、毎回自身がこれまでやってきた実践を裏付けするような理論が登場し、答え合わせをする感覚が面白い。またそれだけでなく、毎回の講座の中で自分にはなかった発想や考え、新たな気づきがあり、講座時間があっという間に過ぎると感じる。これも産能大学院の特徴でもある実務経験の豊かな教授陣や背景の違う学生同士のディスカッションによるものだと考える。また課題もそれなりのボリュームのため苦労はあるが、目的があるため学生時代よりモチベーション高く取り組んでいる。

〈おわりに〉

大学院は、多大な時間やお金を投資することになるので、それなりの覚悟は必要であるが、医業経営コンサルタントやビジネスパーソンにとって、有意義な学びの場であることは間違いないと考える。数ある学びの場の選択肢の1つとして、果敢に挑戦する価値は十二分にあると感じている。